

## トレードオフ

第 18 期生 井上 岳哉

◆もし、思考力と髪の毛がトレードオフの関係にあるとしたら、どちらを選択すべきであろうか。

夜通し論文の執筆作業に没頭し 1Day のコンタクトを着けたまま勉強机の前で寝落ちした、明るく日の朝、私のぼやけた視界には机上の髪の毛の束が映っていた。私は、愕然とした。目を疑うような光景であったが、それはおそらく、というか間違いなく、私の頭に昨日までは生えていたものであった。昨晚のことを思い返せば、確かに、論文のことで頭を悩ませ髪の毛をいじいじとしていたような気がする。それも長時間。考え事をする際に髪の毛をいじる癖が私にはあるということは、昔から認識していたが、このようなことは経験したことがなかった。

それからというもの、この癖を抑えるべく、カフェで作業したり、立ちながら作業したり、ヘアバンドを装着して作業したりと、試行錯誤を繰り返したものの、完全に抑えることはできなかった。どうやら、私にとっては思考力と髪の毛はトレードオフの関係にあるようだ。

「このままゼミを続けていると禿げてしまう…。ゼミを辞めろという神のお告げなのだろうか…。」

そんな馬鹿な考えが頭をよぎったが、私がゼミを辞めることはなかった。思考を放棄して毛がふさふさのサルになるよりも、頭つるつるでもちゃんと思考のできる人間でありたいと思ったのである。そして、12月某日、私は、数えきれないほどの髪の毛を犠牲に論文の完成にこぎつけた。論文の執筆という大仕事を終えた今、ゼミに入る以前よりも格段に思考が深くなったと感ずることがある。髪の毛は減ってしまったが、きっと私の脳のしわは増えているのだろう。

◆謝辞

ここからはこの2年間で特にお世話になった、小野先生、ならびに、大学院生の森 直也さんと北澤涼平さんに感謝の言葉を述べようと思う。

まず、小野先生へ。私が3年生の頃、「何を話しているかちょっとわからない。」と小野先生に言われてからしばらくは、小野先生とお話をするのを避けていました。ですが今では、もっと小野先生に絡みについて、小野先生の知識や思考力を少しでも吸収すればよかったと後悔しております。この2年間ずっと熱心に指導して下さったこと、そして、卒論発表の後にかけて下さった言葉は忘れません。本当にありがとうございました。そして、森 直也さんへ。森さんは、私にとってのお手本です。森さんが親身になって指導して下さったおかげで、今の私があると言っても過言ではありません。感謝してもしきれません。大学院に進学して何かと苦勞もあるかと思いますが、私個人としては、本当に森さんが院進して小野ゼミに残ってくれてよかったと思っています。最後に、北澤涼平さんへ。尊敬しています。また飯行きましょう。以上。